令和7年度 根岸地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和7年度もハッピー根岸を中心として地域福祉を進めて行きたいと考えています。地域の高齢化や担い手の高齢化に伴いケアプラザに求められる役割も変化してきていると感じています。地域組織の要望に応えると共に地域福祉の継続の為に住民、担い手の方と一緒に進め方を考えていきます。

自治会組織のない集合住宅では介入しにくい現状があります。ケアプラザによる見守りを継続するとともに、住民の方による見守りについても検討します。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

■ R6年度に効果測定の包括レベル地域ケア会議を行った。R6年度は、笑福ホルダーを見て、ケアプラザに連絡をしたという方がいなかった。このことから、持つ人への周知はなされていたが、倒れている人を見つけた人が笑福ホルダーを持っているかもしれないと思えるように、病院や店舗など身近な連携機関に再度周知できるようにする。また、元気うちに登録している方は多いが、軽度認知症や認知症、障害のある方などが持つということが登録者数に比べ少ない。対象となるであろう方の家族にも周知するようにしていく。

■ 広報誌「こんち」で引き続き、地域の活動を紹介していくことにより、地域の活動を把握しそれを一般住民に紹介する。また、取材の中で気付いた課題について当事者や地域関係機関と共有する。

■ 引き続き「食品配分会」を開催する。
必要な人に必要なものが配分されるよう周知の方法を検討する。
食品等の寄付の募集範囲を広げられるよう情報収集を行う。

■ 皆が等しく情報を得ることができる
フェスタでブースを設け根岸地域ケアプラザのQRコードの読み込みのお手伝いをすることで体験者に達成感を味わってもらい、新たな楽しみ・自信につなげることができる。
スマホの操作の初歩的などころは通信会社の支援を依頼することができる

■ 駅前周辺の子育て世代を対象に、根岸中学校コミュニティハウスと共催で0歳～2歳を対象とした講座を開催し、小さいうちに地域とのつながるきっかけをつくる。ケアプラザで開催しているほかの事業につなげる。ベビーヨガ、ベビーマッサージ、おはなし会など計7回開催

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント